

平成 22 年度第 5 回（第 17 回）幸町地区学校適正配置地元代表協議会
幸町 2 丁目分科会 議事要旨

1 日 時 平成 23 年 3 月 10 日（木） 午後 7 時～9 時

2 場 所 幸町公民館 講習室

3 出席者

（1）委 員 14 名

うち代理出席 1 名：上村委員代理足立氏（千葉幸町東住宅自治管理組合会事務局長）

欠席 1 名：蟹江副会長

（2）事務局 高須課長、古舘主幹、加茂主査、山崎主査補、安井主査補、松木主任主事

（3）傍聴者 なし

4 報告・議題等

（1）【報告】学校施設見学会について

（2）【議題 1】小学校の統合場所について

（3）【議題 2】次回開催日時・場所について

5 会議資料等

（1）次第・席次表

（2）幸町 2 丁目にある小中学校の教室配置図＜2 月 14 日学校施設見学会資料＞

（3）平成 22 年度第 4 回「協議会」資料＜前回資料＞

（4）資料 3 幸町地区の小・中学校の校舎等の状況＜前回資料＞

（5）資料 4 統合の順序・時期について＜前回資料＞

（6）前回議事要旨

6 会議の概要

（1）【報告】学校施設見学会について

事務局が、教室配置図とスライド（写真）を示しながら説明した。

（2）【議題 1】小学校の統合場所について

協議を行い、次回に継続することとした。

（3）【議題 2】次回開催日時・場所について

次回も幸町 2 丁目分科会として 5 月の木曜日に開催することとし、具体的な日時と場所は会長・副会長に一任することとした。

7 発言要旨

（1）会長挨拶

＜長岡会長＞

明日は中学校の卒業式であるが、殆どの関係者は卒業式に出席されるのではないかと思います。そういった大変忙しい中、出席していただき感謝する。今回で今年度第 5 回になる。

前回までに小学校3校を1つにすることに決まった。統合場所を1校に決めるのは苦しい判断だが、じっくり考えて地域の教育環境等を良くするために十分議論していく必要がある。とはいえ、期限が決まっているので、そう悠長なことも言っていられない。年度末ということであるが、引き続き頑張ってください、良い結論が出せるようご協力いただきたい。よろしくお願いします。

(2) 報告

学校施設見学会について

< 亀田議長 >

初めに学校施設見学会について、事務局から報告をお願いします。

< 事務局 >

○2月14日(月)に開催した幸町2丁目にある小中学校の施設見学会について、見学順(幸町二小→四小→一中→一小)に教室配置図と写真を示しながら説明。

< 亀田議長 >

感想や意見があれば、お願いします。まずは当日参加された方から、素直な意見をもらいたい。

< 八島委員 >

二小は別棟も整備されているし、グラウンドもいいイメージがある。四小は位置が真ん中でいいが、これから統合校になるなら大幅な改修が必要になるだろう。一小も規模的には二小と同じくらいだと思うが、古さがあるので改修すべきところが多いと思う。一小は第2棟が使えていないということがあり、使っていない棟を使用するにはかなりの改修が必要だろう。

< 小池委員 >

見学会について保護者に伝えたら、質問のような形でどういう風に決めていくのかと投げかけられた。やはり自分の学校にしてもらいたいという思いがあるということだったが、そういった保護者の意見は自分の中に置いておいて見学をさせてもらった。

私は当日は四小までしか見学できなかったが、議長が言うように自分の見目で素直な感想を言えば、二小がいいかと思う。今スライドで見た一小の状態などを見ると、やはり二小のほうが明るく感じる。また、四小はフェンスが無い、後から付けることはできるだろうが、現在は無いことから安全面に不安があること、校舎が一・二小に比べると狭いことがある。二小は、ことば・きこえの教室を2年前に新しく整備したのでこれを使わなくなるのは勿体ない。さらに、子どもルームもドライ化された給食室も整備されており、校庭の隅にはビオトープがある。早い統合を考えるのであれば、二小がいいのではないかな。

< 細谷委員 >

二小はことば・きこえの教室がとてもいい部屋だと思った。二小校長の話では、給食室がドライ化されて衛生面がいいという話だった。四小はプールが校舎上にあることについて、これはうちだけだという話だった。一小は建て方としては二小と対称ということだった。どこがということはないが、あまり補修することなく使える二小がいいのかなという気がした。四小は校舎内が、電気が消えていたのかもしれないが、少し暗い感じがした。

< 木村委員 >

四小は特別教室が日当たりの悪い位置にあるが、子どもたちの教室の日当たりはいい。

<山内委員>

3校が統合するということで、各学校の考え方は白紙にして、地域のことも考えながら見学会に参加した。二小は児童数が多いので後からできた設備が感心したところもあった。四小は幸町の地域環境を良くしながら教育環境につなげてもらいたいというのがある、確かに暗いのかなとも思うが、児童数が少ないので電気を消している場所もあって暗く感じたのだろう。一小は一番最初に出来ていたので古くなったなと思った、プレハブを建てて教室を増やしていた時期から比べると子どもたちの数もしぼんで寂しくなったなという気持ちでした。

どういうところに建つにしても、地域、PTA、市、みんなと一緒に頑張って市やURに要請して、いい学校を作って欲しいという気持ちで参加した。

<吉野委員>

3校ともそれぞれ特徴があって、給食室のドライ化や体育館の耐震補強や屋上プールなどがあるが、結局一つに収まって二つを壊すということになるとお金がかかるので、3校のいい部分を寄せ集めればいい学校が出来ると思う。しかし、それは無理なので、それぞれの学校がいろいろな点を持っている、そういうものを1校に決めるのは難しいと思った。

<鈴木委員>

なかなか各校の校舎内を見る機会は無いので、こういう機会があったのは良かった。それぞれ学校ごとに特徴やいい点があるので、一つの学校になったときにそれを取り入れていけたらいいと思う。「この学校がいい」ということは現時点で思っていない。子どもたちがどんな環境で学習できるかが一番大切なことだ。見学できたことは大変参考になってよかったと思う。

<亀田議長>

当日見学した人の意見を伺った。次に、参加されなかった方、事務局から説明のあったスライドを見て、質問があればお願いします。

<木村委員>

私は見学会に出席できず代理が参加したが、それとは別に自分が市P連の関係で、統合して真砂西小になる真砂三小に伺った。校舎が2棟に分かれているうちの改修済みの1棟を見たが、とても明るく綺麗になっていた。トイレも綺麗で、こういう風に改修してもらえたら、耐震さえクリアすれば統合校は許容できるキャパがあればいいのかなと思った。キャパから言うと一・二小が25年度から仮校舎としてスタートできると思うが、それは先の話になるのかなと思う。

四小の新入生について、以前いただいた推計の資料では12名になっていたが、6名になった。今の1年生は10名だが、2学年で合わせて（1年生は対象外らしいが）17人に満たない場合は複式学級になるそうだ。来年度は2・3年生で複式学級になるかもしれない。25年度に統合が決まっているので、1年間だけだから複式学級にしないでくれというお願いが出来るかもしれないが。そういったこともあるので、まずはスタートする仮校舎を決めてもらうほうが四小としては心の準備が出来ると思う。

<布施委員>

質問は特に無い。各校は全て別行事で見たことがある。ことば・きこえの教室も見た。見学会に参加したPTAからは、それぞれの学校に特徴があって、これから統合する際に

は各校のいいものを子どもたちに残して素晴らしい小学校にしてもらえたら、と感想を聞いている。

<巖倉委員>

特にない。

<外山委員>

今までの資料や本日のスライド、またこれまでのいろいろな行事で見たり聞いたりしたものを考えると、一小は古くなっている、二小はいろんな施設が新しくなっている、四小は建て方が全般的に悪い。このような中で、市の財政上非常に厳しいと思うが、次世代を担う子どもたちを育てるということであれば、多少お金をかけて進めてもらいたい。今の小学校を比較しても無理なのではないか、比較しない方がいいのではないかなと思う。

<上村委員代理足立氏>

私は二小卒業生だが、スライドを見て、だいぶ変わったと感じた。設備面と地域性で考えた場合、設備面では二小が80点、四小は暗いかもしれないが60点、一小は外壁などがボロボロになってきており50点以下と考える。地域的には、二丁目地区で考えたとき、通わせる位置では中心である四小が私はいいと思う。そのためには、市の財政が厳しいのは確かだが、お金をかけて直してもらって、一小と二小のいいところをチョイスして四小に入れてもらうことだ。子どもたちの通学の安全性を確保することを考えると、学校は二丁目の中心にあったほうがいい。そうすることで小学校、中学校、12街区の跡地がどう利用されるか、例えば老人施設が入ることになれば小学生と老人のつながりはとてもいいものがある。老人ホームを小学生が訪問したりすること、そういうことを思うと、四小がいいのかと思う。四小は設備面では真ん中だが、改修することで良くなるだろう。とにかく設備という点では二小はいいかもしれない、個人的にも二小に未練があるが、地域性を考えたらやはり四小ではないかなと思う。

(3) 議題

議題1 小学校の統合場所について

<亀田議長>

学校施設に関して事務局に対して特別に質問がないようであれば、足立さんから統合場所についての意見が出たので、次の議題「小学校の統合場所について」に移りたい。本日結論を出すものではないが、皆さん意見があればお願いしたい。

<山内委員>

私はいろいろ条件があると思うが、足立さんの意見に賛成である。ただ、場所が決まった時点で、例えば四小を場所にしてこういう設備にして欲しい、など具体的に要望を出したものはどの程度受け入れて貰えるのか。児童や地域の環境を考えた上での要望が出ると思うが、どこまで受け入れられるかが分からないと私たちも決められない。それから、四小になった場合はURから借りている土地はそのままでもよろしいのか確認したい。

<事務局>

具体的にどのような形にしていくかが見えないと答えられない部分がある。とりあえず色々な側面から皆さんの意見を出していただいて、こういう風にするにはこうしたらどうだ、こういうことがいい、という意見をいろいろ出していきたい。施設設備面の整備については専門家ではないのでこの場では答えられないため、持ちかえって次回に回答を

することになるだろうが、この場ではざっくばらんな意見を出してもらいたい

<八島委員>

二小は綺麗だが、通学する人数を考えると、あの大きな道路を渡る子どもが大半になるので、真ん中に位置する四小が一番いいかと思う。保護者からの意見は、中途半端な改修はやめてほしい、その後に改修が不要になるくらい、全体的にきちんとした改修をしてもらいたい、ということだ。中途半端なことでは絶対に困る。これはお金の問題ではない。母校が無くなるということは非常に悲しいことだ。たった40年程度でこれだけ変わってしまうということに、個人的には憤りを感じる。熊谷市長の言うように、こども未来館などを作って、しっかりやってもらいたいと思う。

<木幡委員>

私も見学会では二小だけ見たが、教育委員会に確認したいのは、皆さんが言うとおりの学校もいい点があるし、建てた時期や改修が入ったことによって設備が変わる。施設の面で一番大切なのは耐震性だと思うが、3つの小学校は工事をすればどの学校でも震度6強の地震がきても大丈夫だということによろしいか。その点を一つ確認したい。

それから四小が暗いという話が出たが、明るい暗いの感じ方はそれぞれあろうかと思う。また、二小のこぼ・きこえの教室はかなり立派な施設だと思うが、つまりそれは、やる気になればどこでもそれと同じかそれ以上のものができるということが見学して分かったということではないだろうか。つまり、この小学校はどうしようもない、手の入れようがない、という場所は幸町には無いということだ。設備面も、その気になれば、明るくて設備のしっかりしたものが、どの学校でもできるということが見学会で分かった、それが非常に大切だと思う。

場所について、地域の真ん中に集めたほうがいいという意見と、細長い地域では分散させたほうがいいという意見と、都市計画やまちづくりの考え方においてはいろいろな意見がある。その辺を慎重に意見交換する必要があるだろう。真ん中がいいという意見が出ている、私はそれを覆すほどの考えは持っていないが、ある程度拠点は分散したほうがいいという都市工学上の考え方があるそうだ。

3点目に、それぞれ地域の愛着があるだろう。私も一小の関わりが大きいので愛着はある、それが素直な住民感情であり、理屈だけではすばっとできない問題がある。そういう住民が集まって地域コミュニティを作っている。方程式を解くように距離で計って、という風にはいかない地域性、住民感情があると思う。我々委員としては、前回確認したように多面的な方向から、しかし時間が限られているので集中的に検討していくことが重要だろう。そういう点で、私は現時点で四小がいいという意見に反対するものではないが、やはり真ん中の四小がいいと決断することも出来ない。関係者のいろいろな意見を聞いて考えていく必要があると思う。

<長岡会長>

学校を見て歩いたということは、教育委員会の姿勢の問題であり、どれか一つ、いい所を選んでくれと見学させたものではないと思う。いい所を見る、それを新しい統合校にも取り入れるという観点で見学会をやったということだろう。いろいろな意見を出してくださいと言うが、そういう観点でないと、統合校はいい学校にならない。他の統合新設校がどうなっているかということも見ながら、施設面でもいい学校にしていくことができる議論でないと意味がない。教育委員会としても地域の声に応える姿勢を見せて欲しい。最初

に予算がないと言われると困る。

<布施委員>

3つの小学校をどうするかということで、以前の資料に学校別の保有面積等が書いてある。四小を統合場所にするなら教室を増やす必要があるが、面積的には三小とほぼ同等であり、校庭を潰すわけにはいかない。四小の教室を増やすなら、上に持っていくしかないと思うが、階数を増やすことが出来るのか確認したい。

<事務局>

まさにそういった意見をいろいろ出してもらいたい。

施設の専門家では無いので、今の質問にこの場で答えることはできないが、持ち帰って確認してくることは出来る。今の質問で言えば、階数を増やす形での増築が出来るのか、出来ないのであれば校庭にどのような形で増設することになるのか、などが示せるだろう。議論の中で、いろいろな学校のいい点を集めるという話が出たが、当然一つにするわけなので、各校の子どもたちに最低でも現状と同等の環境、それにプラスアルファ、というものを保った上での統合の話であろうから、そういったものが可能であるのかという今のよう質問は持ち帰りやすいと考える。

<木村委員>

例えば、二小のドライシステムの給食室、これは独立しているが移築はできないのか。二小の子どもルームは見た感じプレハブなので移築できるだろうと思うが。

<事務局>

給食室、子どもルームとも基本的に移築は難しいと思う。子どもルームは本設プレハブといって、通常の施設と同様の機能を備えている。給食室は、基本的に改修工事をする場合はドライシステムに変えていくという方向性になっている。

<上村委員代理足立氏>

四小に場所を決めた、そのときはこれとこれをやってほしい、そう要望を出すしかない。お金は市にお任せして出してください、ということだ。

<亀田議長>

木幡さんに質問だが、地域的なものを真ん中に集めるものではない、という考え方について、地域というのは幸町全体を指すのか。

<木幡委員>

現在、小学校統合の対象になっている一・二・四小地区の話である。

<亀田議長>

学校が避難場所であることを考えると、近い場所に学校が集まって、高洲に近い方には学校が無いことは問題だと考えて発言されたのかと思った。

<木幡委員>

そういう視点で言う人もいる。学校がコミュニティと防災の拠点であるので、ある程度分散したほうがいいという意見と、真ん中に集中したほうがより合理的という意見がある。そういうことも含めて、いろいろ議論した方がいいのではないかというのが趣旨である。

都市工学の感覚は政府を見れば分かる。中央に主施設を置いて、岩盤の固い立川のほうに非常用の施設を設けている。これが分散型の都市工学である。

この協議会で考えなくてはいけないのは、子どもたちの安全と生活環境、地域性、あとは最後に設備だろう。要するに、子どもたちをいかに伸び伸びと育ててやるか、そういう

ことではないだろうか。

<八島委員>

私たちPTAの視点では、子どもたちにとって学校の位置はどこがいいか、ということに尽きる。自分の個人的な気持ちとしては一小である、特別支援学級もあり、そういった子どもたちはデリケートなので環境を変えたくない思いもある。しかし、1校だけの話では無く、3校の子どもたちのことを考えると、通学するのに単純に真ん中がいいのではないかということ、その他のことは考えられない。もっと言えば、現在の3校を使ってサッカーやバスケットをしている子達がこれからどうなるのか、ということも困っている。そういうことを抱えながらこの場に来ているので、PTAとしては子どもたちがどこなら通えるか、そういうことでしか考えられない。

<小池委員>

安全面で言えば、二小の児童が四小に通う場合、押しボタンの信号しか無いことも気になる。そういった安全面からも、本当にどこがいいのかはそう簡単に決められない。四小になったときにどの程度の校舎、グラウンドに整備してもらえるのか。要望を出しても予算などでどうなるかわからない。

<山内委員>

大変厳しいことを言うが、それは甘えだと思う。現在の幸町団地が少人数という状況の中で、1校にすることを決めたわけである。将来の子どもたちのことを考えれば、これからいろんな中で、希望を市に要請してみんなで働きかけて、地域で協力しながら子どもたちを育てていくのが考え方である。みんな同じ気持ちである。私の息子も一小から四小に行ってくれと言われたので、PTAの皆さんの気持ちも分かるが、信号が危険だと言ったら、他の団地外で通わせている保護者はもっと心配だ。事故の無いように、地域でパトロールしたりして頑張っていけばいいと思う。100%納得することは難しいと思うが、いろいろな学校のいいところを要望に入れていくしかないのではないだろうか。

<外山委員>

幸町団地の形状を見れば分かるように、道路が真ん中にある。最初に小学校が2校出来たというのは、子どもたちに車道を渡らせないようにということだったのだろう。それを統合することに決定したのだから、どこが統合校になっても車道を渡る必要はある。それは仕方のないことだ。それは大人たちが見守ってやるとか工夫していく必要があるのではないか。

<上村委員代理足立氏>

押しボタン1つといったが、押しボタンのすぐ近くに交番がある。

<亀田議長>

そこが危ないのであれば歩道橋を設置してもらおうとか、信号にしてくれとか、要望を出すことはできるのかと思う。

安全第一に考えれば対策のしようはあるのだろう。しかし、設備的なことはいろいろあると思うので、ここにすればこれはどうなる、といったことを教育委員会に聞いてみれば、検討してくれると思うが。

<木村委員>

一・二・四小をそれぞれ統合場所にした場合、概算でいいので改修期間と費用がどの程度かかるのか、それを教えていただきたい。仮校舎としてスタートする所はこれから先で

もいいが、その期間が分かれば保護者に伝えやすい。

<亀田議長>

今の意見は、統合場所を一小にした場合には（四小は仮校舎にはならないだろうから）仮校舎は二小、二小にした場合には仮校舎は一小になり、統合場所を四小にした場合には仮校舎は一小か二小のどちらかになるわけだが、それぞれの改修期間と費用を資料として提示して貰いたいということでもいいだろうか。

<木村委員>

はい。

<巖倉委員>

P T Aの意見が強くなっているが、地域から見ると違った見方ができる。現在は四小のグラウンドを使わせてもらって、お祭りなどができている。四小が無くなったときにグラウンドがどうなるかが気がかりだ。四小の土地はU Rが持っているわけだから、将来どうするつもりか分からない。センター街区の大幅な開発がこれから進むところであり、四小はその土地に隣接しているという問題もある。団地の再生・再編の問題もこれからどう転がるか分からない。地域から見ると、また別の考え方があり、長い目で見なければならぬものがたくさんある。学校は統廃合があれば在籍している1～6年生は迷うだろうが、新入生は悩まない。しかし地域はいろいろある。その辺りを慎重に考えていかなければならない。P T Aの意見を聞くと同時に、私だけではなくて地域の意見もある程度汲んでもらいたい。また、教育委員会にはU Rの意向を聞いてもらいたい。もともとあそこの場所は中央公園で広場だった、そういうことをある程度考えてもらいたい。

<長岡会長>

幸町二丁目には市の公園が無いと常々言っている。子どもたちは学校だけで育つのではなく、広場での少年サッカー・少年野球、いろいろな行事の中で育っている。学校と家庭の往復だけではなく、地域の中で育っている。小学校が3つあって、それをうまく調整しながら使っているのが実態である。その原因は幸町二丁目に地域の公園がないことだ。幸町二丁目に無いのは、市の公園と、U Rが作らなかった商店街である。跡地をどうするかということもきちんと考えないと、子どもたちが地域の中でいろいろな活動をする場所が無くなるという視点も必要だ。

もう一つは、いま巖倉委員が言われたように、四小はU Rの土地である。学校として借りている間はU Rも文句が言えないが、四小をなくすということは広場が一つ減るということも起こりうる。そういう地域のことも含めて、子育ての一環である子どもたちの交流の場にも視点を当てて、空いた土地を地域でどのように使うかということも合わせて考えていかなければならない。

<八島委員>

何かの紙面で廃校になった土地の使い方は白紙、という記事があった。廃校になった場合の跡地利用、体育館も含めて、市はどのように考えているかを聞きたい。

<事務局>

跡地利用については、学校適正配置実施方針に盛り込まれている。実施方針6ページに3つの基本的な考え方がある。

「1 費用対効果を勘案し、有効活用することを原則として検討」跡地は有効に使うことが原則だが、かけたただけのお金に見合う市民サービスが提供できることが求められる。

「2 地元要望に配慮するとともに、全市的な行政施策との調整を図りながら利用計画を策定」この協議会の役割として統合合意による市の決定がなされた後に跡施設利用に関する地元要望をまとめることが大きな仕事になる。その要望を踏まえながら、跡地は教育委員会単独のものではないので、市の財産として、市全体で利用を考えていく。

「3 有効活用後、残った跡施設を処分する場合は、処分益を教育施設等の整備・充実のために優先的に活用」

<長岡会長>

花島小の跡施設である旧花見川五小は耐震改修されずにそのままになっている。それはどのようなになっているか。

<事務局>

花島小の開校に伴って跡施設になった旧花見川五小は体育館の改修が終わり、校庭と体育館が開放されている。また、屋外にトイレが設置された。

校舎改修の実施設計は終わったが、財政が厳しい中で介護・医療・教育などに優先的に予算配分せざるをえない状況であり、改修工事は先送りになっている。ただ、所管である市民局としては、改修工事ができるように検討しているところである。

<長岡会長>

校庭や体育館の利用は幸町もできるということか。

<八島委員>

そういうときは、市が管理するのか。

<事務局>

旧花見川五小では、地域の自主管理である。

<山内委員>

私は開放委員会をしているが、市から体育館・校庭を借りるときは決まりがある。学校運営に支障のないよう、利用団体が月曜日に明け渡しをするということ。また、日曜・祭日・夏季休暇・冬季休暇には各利用団体の代表が何名か出て、校庭であれば怪我のないように、体育館では掃除、という任務がある。

<亀田議長>

今は学校の中の施設だからだろう。これから跡施設になって、学校ではなくなったときにどうするかということで、旧花見川五小のように自主管理する団体を作ればいいのかことだろう。

<外山委員>

スペース等を考えると、四小は狭い気がする。四小の街にある老人福祉センターが2年後までに撤去されるという話があるそうなので、四小が統合校になった場合に大きくするために老人福祉センターの跡地が使えるのかを聞きたい。その辺りの情報、市としての考えを伺いたい。

<事務局>

調べておく。

<亀田議長>

本日の会場は使用できる時間が決まっているので、保護者のみなさんは意見があれば次回に持ってきていただきたいと思います。来年度に改修するにはいつまでに、ということだったか事務局に確認したい。

<事務局>

25年4月に開校するには仮校舎でスタートすることになるが、仮校舎も24年度中の修繕が必要である。修繕する前の年度、すなわち23年度に修繕予算を要求しなくてはならない、という側面がある。また同時に、3校統合は千葉市で初めてなので、子どもたちがスムーズに一緒になるために、できるだけ早い段階で現場の先生方が話し合いながら一緒に行事や校外学習をする、あるいは保護者同士がPTAが一緒になるための準備をするなどの期間を考える必要がある。そういったことから、今年の9月初め頃までには統合の要望書を提出していただきたい。

<亀田議長>

できるだけ早い時期に場所を決めたいと思う。

議題2 次回開催日時・場所について

<亀田議長>

今年度の協議会はこれで終わりである、次回は来年度になるが、来年度の保護者会や自治会等の役員改選に伴い、本協議会の委員の変更もあるので、次回も幸町2丁目分科会として5月を目途に開催することとし、具体的な日時と場所については会長・副会長へ一任ということでは承っていただきたい。また、平成25年4月の統合小学校開校に向けて、今年9月までに統合の要望書をまとめる必要がある。協議時間を十分にとるため、しばらくの間、平日の夜ではなく、土曜日を基本として日程を設定していきたいが、いかがか。

<布施委員>

5月だが、どこの小中学校も体育祭がある。体育祭は土曜日になるが、雨天時は日曜日になるということもあり、5月は土・日とも難しい。

<亀田議長>

9月には要望書を提出したいので、出来れば5月には第一回を開催したい。来年度の1回目は5月の早いうちの木曜日の夜に開催することにしたが、いかがか。

<一同>（異議なし）

<亀田議長>

他に無ければ、これにて議事をすべて終了する。ご協力感謝する。

（4）諸連絡

<事務局>

○議事要旨について、後日委員の皆さんには案を送付する。訂正等あったら期限までに返送をお願いしたい。返送がない場合は変更なしとみなす。

○来年度の委員について

できるだけ早い段階で確定したいのでご協力をお願いする

PTA：会長を基本とし、事務局から新会長に就任依頼をする。会長以外が委員になる場合は会長の推薦が必要。

自治会：新年度事務局から現在の委員へ問い合わせをする。役員改選等に伴い本協議会の委員を交代する場合は、地区連の会長と相談のうえ、新たな方に就任を依頼する。

学校評議員：交代する場合は、学校長と相談のうえ、就任を依頼する。

<鈴木委員>

25年4月開校するには、いつ頃までに何をしなくてはいけないのか。ある程度の目安があれば助かる。

<事務局>

一例として話すと、統合に関する要望書は今年の9月前半までに提出していただきたい。その後の跡施設活用の要望書の取りまとめについては急ぐ必要はない。25年4月には1校が統合校舎として改修することになり、1校は仮校舎になり、1校は跡施設になる。その段階での跡施設をどうするかという議論がまずあるだろう。本校舎の改修が終わった後に仮校舎が跡施設になる。2～3年先になるので、十分時間をかけて跡施設をどうするか議論していただく。真砂地区を例に挙げると、21年9月初めに統合に関する要望書が提出され、その年度の間には跡施設活用の要望書を取りまとめた。まとめるにあたっては、当時の地区連会長が各団体に照会をかけた内容や内容を精査して要望書として整えた後に協議会に示して了承を得る形だった。自治会を中心にご苦労をかける点があるかと思う。

新設校開校準備にあたっては、この協議会とは別に、統合準備会を設置する。この準備会の委員は、PTA同士の統合も絡んでいるため各学校のPTA会長副会長、学校中心に新しい学校づくりをするので統合する学校の校長・教頭・教務主任、また地域代表として一人、小学校の場合は育成会会長の方をお願いしたい。他には教育委員会の各関係課が入る。それぞれの情報交換、課題点を出しながら学校づくりをする話し合いをしていく。真砂地区では21年度11月、2月、22年度6月、10月、2月、全部で5回行った。5回程度で会議としてはいいのかなという感じである。PTAの規約や予算の検討、学校の交流事業の計画や報告、教育内容のすり合わせ、新しい教育課程の策定、統合に先立って算数セットや体操服を同じものにしようとか、名札はどうしようとか、話し合う内容は細かい点も含めて多岐に渡る。そういった話し合いを学校でして、内容をPTAに示して理解を得る、教育委員会の仕事の進捗状況報告、引越し手配、そういったことが話し合われる。

<八島委員>

今聞いた状態でこれから大変だというイメージは分かる。先生方も大変だろう。先生方の加配も考慮してもらいたい、それはどの辺りでお願いしておけばいいのか。統合に向けた業務が必要になるのだから、統合前から、なるべく早く、加配をお願いしたい。

<高須企画課長>

今年度一年間の皆様の真摯な協議に対し、教育委員会を代表してお礼を申し上げる。

さまざまな角度からご議論いただき、感謝する。平成20年2月から立ち上がって、今回が第17回ということだが、今後も幸町の子どもたちの教育環境整備のためによりしくお願いしたい。

(5) 閉会

<長岡会長>

協議はこれからである。今後ともよろしく願います。気をつけて帰宅してもらいたい。